

# 六甲カトリック教会 教会報



## 教皇メッセージ

### 「祖父母と高齢者のための世界祈願日」を読む

フランシスコ教皇は、7月第4日曜日(ことしは7月25日)を「祖父母と高齢者のための世界祈願日」と定め祈りを捧げられました。アルフレド神父さまは、早速これをメール配信し、六甲教会の全信徒に行き渡るようにされ、またミサでもそのお話をされました。今回の教皇メッセージは、コロナがいつまでも終息せず、とくに多くの高齢者が苦しんでいる世界の現状に、いたたまれず発せられたものと理解します。この祈りはすでに5月31日、聖母マリアの訪問の祝日にローマのサン・ジョバンニ・イン・ラテラノ大聖堂で切々と訴えられた教皇のメッセージ「わたしはいつもあなたとともにいる」がもとになっています。

7月の祈りは「主よ、ともにいてくださるあなたの慰めに感謝します。孤独なときの、あなたは私の希望、信じる心のよりどころです」と、始まります。そして最後に「弱いわたしを支え、世の終わりまで、日々あなたがともにおられることを確信し、あなたが与えてくださる一瞬一瞬を精いっぱい生きることができるよう助けて下さい」と、結ばれます。タイトルが「祖父母と高齢者のための…」となっており、単に「高齢者のための」ではなく「祖父母」ということばが入っているのは、身近な係累を表すのと同時に、時代を生き抜いてきた偉大な方々、という意味でもあろうと解釈します。

メッセージで教皇が訴えられていることは、パンデミックが長引いて社会生活もまだ回復していないなかで、人々が絶望しないように、とくに高齢者が希望をなくさないようにということです。コロナウィルスのまん延のなかで、高齢者は感染、重症化のリスクが高く、また教会の典礼からも取り残され、社会からも切り離されようとしています。教皇はこのことに、ことのほか心を痛められて今回の祈りになったものだと思います。そのキーワードが夢・記憶・祈りです。教皇は、多くの人々が苦しみ、孤独に陥っているさなかでも、高齢者も若者と力を合わせ新たな「召命」を受け入れなさいと仰っています。高齢者は豊富な体験(記憶)を活かし行動し、若者はこれを受け継ぎ推し進める。そのためには夢を見続けることが大切だと。そして「主よいつもともにいて下さい」と祈るのです。年老いたヨアキムとアンナに主は聖マリアの両親(イエスの祖父母)という役割を与え、ヨアキムの夢と祈りはかなえられたのです。

9月20日は敬老の日です。人生経験ゆたかな高齢者が若者と手をたずさえ、希望が潰えないように夢をかなえ、記憶を確かめ、祈りを捧げましょう。

(編集部)



画像はイタリアのジョット(1267~1337)描くフレスコ画「ヨアキムの夢」



## 日本カトリック正義と平和全国集会 オンライン開催

第41回日本カトリック正義と平和全国集会  
2021大阪大会

参加申し込み 9月30日 〆切

30の分科会（居心地のいいミサってなんだろう、ゴジラから見た正義と平和、環境問題、子どもの貧困、教会内のハラスメント、「拉致」を知り共に生きる、キリスト者として憲法を考える、難民たちと福音を生きる、放射能汚染地域は今、など）の中から興味ある分科会にZoom参加できます。発題者にお話をさせていただき共に考えるというプログラムです

前田万葉大司教さまも大会実行委員長の松浦謙神父さまもあらゆる角度からいのちの尊厳を守る生きかたを考える機会になればと願っております。一人でも多くのかたに参加していただければと思います。大会申込要綱や30の分科会テーマ内容が記載されている小冊子は事務所に置いてありますので、ご興味のあるかたは、お申し出下さい。 社会活動部 井川 伸子



## コロナ禍での炊き出しメニュー

カトリック社会活動神戸センター(神戸中央教会敷地内)が中心となって各小教区やその他のボランティアグループが当番制で支援している炊き出しがあります。この活動は阪神淡路大震災時から始まって今年で26年目を迎えます。緊急事態宣言時は残念ながらできませんでしたが、解除後は徐々に再開され始めています。とは言うものの、以前のように小野浜グランドや、各小教区の台所で作るのが厳しい状況ですので、社会活動神戸センターの台所をオープンにして中庭で作らせてもらっているのが現状です。六甲教会は毎月第2土曜日にハヤシライスを作っています。他の教会ではどんなメニューなのか、センター責任者の山野さんに伺いました。以下は山野さんからのメッセージです。 (社会活動部 井川 伸子)

- 住吉 : 豚汁と白飯
- 六甲 : ハヤシライス
- 神戸中央 : 不定(季節野菜を使ったメニュー)
- 兵庫 : ちらし寿司(冬場は中華丼)
- 北須磨 : みそ汁とおにぎり
- 垂水 : カレーライス
- 明石 : 豚汁と特大おにぎり
- 三田 : 三田丼(親子丼の中に野菜がたくさん入る)

英語グループ : カレーやチキンアドボ(フィリピン料理)が多いです。

夏場はカタクリをいれた「あん」系は冷めにくいいため、なかなか熱くて食べにくいようです。今はお丼一つでの対応のため致し方ないですね！

「熱～うて食べられへん」と言いながら、2,3回お代わりしているおじさんもいるようです。

## 平和旬間ことしの祈り

誰も置き去りにしない世界へ



2021年【平和旬間】8月6日◎～15日◎

8月8日の「主日ミサ」の後、共に祈ります。

8月7日(土)	18時00分ミサ(地区を問わず)
8月8日(日)	7時30分ミサ(地区を問わず)
//	10時00分ミサ(第2グループ)
//	11時30分ミサ(第1グループ)

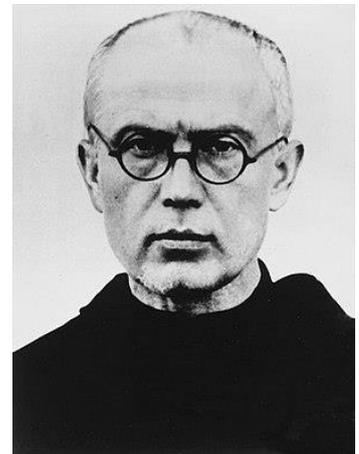
六甲カトリック教会

コロナのため、今年の平和旬間も皆で集まることが出来ません。昨年と同様冊子を作成、配布し、この期間中の主日のミサでも祈ることになりました。ことしの大阪教区の平和旬間テーマは「だれも置き去りにしない世界へ」です。アルフレド神父さまは「日常を大切にすることが平和への道筋」と仰られ、冊子に紹介されている数ある「平和の祈り」を自宅やそれぞれの場所、時間に祈り味わうことを勧められました。ミサではヨハネ・パウロ二世の「平和を求める祈り」をとりあげられ、拝領の後に捧げられました。この祈りは「人類の運命のかぎをにぎる人々が復讐や報復の論理を用いないように…」との文言があり、まさに現在の世界への警鐘となり、切なる祈りになったと言えます。



### 今月の聖人 9月 ☆マキシミアノ・コルベ神父

1939年9月19日、コルベ神父は突然逮捕され、ナチスの収容所に入れられます。コルベ神父が発行していた「聖母の騎士」誌がナチスの意に添わないという理由だけで、いったんは釈放されますが再び逮捕され、そしてついに解放されることはなく、のちに脱走した囚人の身代わりとなって懲罰の餓死刑を言い渡されます。人間を飢餓の状況に追い込んで死なせるという残忍極まりない刑罰です。「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」(ヨハネによる福音書15章13節)を実践したのです。餓死房の中でコルベ神父は1941年8月14日に帰天しました。教会暦ではこの日をコルベ神父の殉教記念日としています。加えてコルベ神父の運命を変えた9月19日も重要な記念日と言えます。



コルベ神父は日本とも深いかわりを持っています。1930年4月、コルベ神父は長崎に上陸、自身の修道会の機関紙「聖母の騎士」誌の日本語版を発行します。軍国主義が台頭してきた当時の日本での活動は困難であつたらうと推察されます。1936年5月に故国ポーランドへ帰国するまで、宣教師として長崎を拠点に活動しました。

コルベ神父の殉教は古代や中世の殉教者と違って、まだ記憶に新しい出来事です。目の前の戦争や理不尽、不条理に従容とまた敢然と立ち向かって行ったコルベ神父の行動は、現代に生きる私たちにとって多くの学ぶべきことを示しています。

コルベ神父は1982年10月に列聖されました。

(詫 洋一 記)



皆様は映画「日日是好日」という映画をご覧になりましたでしょうか。樹木希林さんが先生で黒木華さんが生徒さん。お茶を通して先生との淡い交流の中で生徒さんが成長してゆく姿を描いた映画です。樹木希林さんが醸し出す先生の味は見事でした。静寂な茶室の床の間には軸が掛けられ、季節の花が野にあるが如くに活けられ、かすかなお香の香りに、静かに沸く湯の音。想像するだけで心が静まり、日常を忘れさせる空間と時間。その空間と時間の中で、何も考えずにただ一碗のお茶を点てるため、所作と自分の呼吸を合わせつなげていきます。とても集中力のいる作業です。心が乱れているとお点前にきっかりと反映される怖さもあります。

同じお点前を何度も何度もお稽古をしながら、集中力、忍耐力、平常心を鍛える修行ですが、流れるようなお点前ができるようになり上達していく中で、見えてくるものがあります。まどろっこしいお点前にもちゃんと理由と合理性があることに気づくとお稽古が一段と面白く楽しくなってきます。

私はお茶を点てることは祈りそして黙想に通じる部分があると思います。無心になり点前をしている中で己の心を内省し、迷う時には進む道を選ぶ覚悟を促す時間であるとも思います。利休の弟子には高名な武将が数多くおりますが、高山右近もその一人です。きっと右近は苦悶と葛藤を重ね、静寂な茶室で神の声を求めて無心に茶を点て、自分の進む道はゆるぎない心で神の道を歩むことと覚悟を決めたと思います。

これまで私は大好きなお茶を多くの方々にお教えすることが楽しくて続けてきましたが、生活様式が大きく変化し、優れた日本の伝統文化継承が危うい昨今、先人たちが築き上げた茶道を繋げてくれる人を育てることが長年お茶に携わってきた私の務めだと思うようになりました。時代に即した茶道の姿を考えることも必要かと思えます。多くの方々との出会いを通し成長させていただいたこと、お茶のできる環境にいられることに感謝したいと思っております。



### 図書室からのお知らせ

この2月に出たパパ様の本が入りました。あとは昨年10月の新回勅「Fratelli tutti(兄弟の皆さん)」の早い邦訳発刊が待たれます。

#### ☆使徒的勸告 愛するアマゾン 教皇フランシスコ カトリック中央協議会

アマゾン周辺地域への特別シノドス後の「神の民と、善意あるすべての人」にあてられた使徒的勸告。回勅『ラウダート・シ』の「あらゆるものは繋がっている」とのメッセージの下、アマゾンの民族・文化・経済・自然に関する深刻な脅威を具体的に指摘し、全人類が受け止めるべき喫緊の課題を示し、教会の予言的役割・社会的参与の必要性を解く。文化の多様性・地域の特殊性へも眼を向けましょう。

神戸大学の教授の方から著書をいただきました。

#### ☆聖母の美術全史—信仰を育んだイメージ 宮下規久朗 ちくま新書

「聖母マリア」がなぜ信仰を集めたか——多くの図版を紹介しつつ、聖母への信心や崇敬は芸術とともに発展してきたと述べています。著者は西宮に住むプロテストの信者さんで、神戸大学大学院人文学研究科教授で西洋美術史を講義されています。大学への行き帰りに六甲教会に立ち寄られ、祈っておられる(アルフレド神父)とのことですので、出会われた方もあるかもしれません。

《お願い》 ※教会に図書を寄付・寄贈される方は、信者や教会図書室利用者に、その図書の推薦文や、教会図書室に相応しい旨のアピールを添えて事務所に申し出ください。

またお気付きのこと、希望の図書等ご遠慮なくお知らせ下さい。

## ◆ イエスの母・マリア ◆

何だかヘンテコリンな天気で、参ってしまふ。この四日ほど陰悪で晴れない空模様だ。今どき梅雨というのも奇妙だが、被害がほとんど沖縄から北海道にまで及び、人命や家屋に甚大な被害をもたらしている。ところによっては年間雨量の半分近くが降って河川が溢れ、土砂災害が相次ぎ、各地の悲報がやまない。携帯電話にも連日のように、けたたましい警報が響き緊急避難の指令が出される。耳慣れない言葉であるが、「線状降雨帯」とはいったい何なのか、どうして居座るのか、過去に例が無いのかどうもピンとこない。

少し時期はずれかもしれないが、マリア崇敬について書いてみよう。何かの機会に私たちがプロテスタントの教会に入ると、中央に大きな教壇（祭壇ではない）が鎮座し、堂内に一切の立像や装飾物が無いスッキリ、またガラんとした印象を受ける。イエスのみによる救いの恵みに注目するため、マリアも含めて聖人たちによる、功德や代願や執り成しへの寄り縋りを断つために他ならない。確かにすべての人（マリアも含めて）は、ただイエスの恵み・十字架の贖いによってのみ救われ、この信仰を告白する者がキリスト者である。しかし時代や民族によっては極端に走り、ただマリアにひたすら熱心に縋り付きさえすれば救われる、マリアのみに専用に別個の救いの道・入口があるかのように夢想するまでに至った。教会も迎合して、信心の暴走や逸脱を断固としてただし止めなかったきらいがある。

新約聖書はマリアについて何を語り、何を教えているのか。ルカの一章と二章に、マリアの神への信仰が具体的に解き明かされる。彼女はガブリエルの言葉に畏れ入り、どうしてそんなことがと問いただし男を知らないと言う。しかし至と高き者の力に覆われて聖なる神の子

を産む母の召命を、主のハシタメとして御言葉通りに成りますようにと勇ましく引き受ける。またエリザベットは、主の語ったことが必ず成就すると信じたマリアの幸いを称える。この後マリアは、イエスによって救われた者の代表者として主なる神を崇め称え、卑しい召使を顧みて大事を為された神を賛美する。しかしシメオンからは、ツルギで胸を刺し貫かれる時の訪れが預言される。また12歳になったイエスの不可解な言行を前に、マリアは取り乱し心配して探し回った次第を訴える。この二章に、二回も繰り返される言葉「母マリアはこれらのことをみな心にとめ思いめぐらしていた」に、途方に暮れる母の姿も、み旨に沿おうとする呻吟も露になる。

マルコ、マタイ、ルカが共有する伝承は、イエスの母マリアを貶めるものなのだろうか。むしろ血の繋がりによる母子関係を、「神のみ旨を行う」というもっと本来的な、マリアの信仰の原点を言い表す最上級の誉め言葉ではないか。さらにヨハネ福音書のみが記す、カナにおけるマリアの執り成しがある。母との間柄を断つかのように響き、イエスの時はまだ来ていないのに、「彼が言うことは何であれ行え」とマリアは僕たちに勧める。マリアは遂に十字架のもとに佇むが、イエスは「見よ、これがあなたの子です」と先ずヨハネを母に委託する。この言葉によるのか、聖霊が下るまでの間に「使徒たちは皆、婦人たち、特にイエスの母マリア、およびイエスの兄弟たちと共に、心を合わせて、ひたすら祈りをしていた」と使徒言行録は記している。マリアこそは、イエスの第一の弟子、最もイエスの身近に十字架にまで寄り添い、イエスの福音を深く理解し、その意味では全キリスト者の唯一無比のお手本ではあるまいか。

（合掌）

## 【 2021 年 9 月 予定表 】

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
					初金曜日	
5	6	7	8	9	10	11
年間第 23 主日 被造物を大切に する世界祈願日			聖マリアの誕生		日本205福者殉 教者	
12	13	14	15	16	17	18
年間第 24 主日		十字架称賛				
19	20	21	22	23	24	25
年間第 25 主日	教会受付休 み(敬老の日 のため)	聖マタイ使徒 福音記者				
26	27	28	29	30		
年間第 26 主日 世界難民移住 移動者の日		聖トマス西と 15 殉教者	聖ミカエル聖ガブ リエル聖ラファエル 大天使			

【訂正】8月号掲載の小教区評議会議事録中、協議事項(2)①社会活動部の項で「中央教会の台所」とあるのは「中央教会敷地内の社会活動神戸センターの台所」と訂正します。(社会活動部からの申し入れによる)

★★デルタ株の猛威で感染者急増がとまりません。またもや緊急事態宣言です。公開ミサ中止、広報部のメンバーも教会に出入りできなくなりましたので、9月号はアルフレド神父さまと事務所で印刷して頂きました。ミサが再開されればお手元に届くものと思いますが、それまで封印されます。広報部員として本当に歯がゆい思いです。一日も早くコロナの魔手が届かなくなることを祈るばかりです。★★

次回10月号の発行は、9月25日(土)です。  原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご持参いただくか、FAX やメールでお願いいたします。皆様からの原稿をおまちしております。あわせてご意見もお寄せください。(広報部)  <a href="http://www.rokko-catholic.jp">http://www.rokko-catholic.jp</a>	<b>六 甲 カ ト リ ッ ク 教 会</b>	
	〒657-0061	神戸市灘区赤松町 3-1-21
電 話	078-851-2846	
F A X	078-851-9023	
E-メール	renraku@rokko-catholic.jp	
発行責任者	アルフレド・セゴビア	
編 集	広 報 部	